

「ほっと.café」。その名のとおりにお母さんたちの「ほっと」する場所、時間です。保育所に通う前のお子さんとお母さんが参加されています。保育士と一緒にいるので、保育所に入るときに注意点を教えてもらったり、食講座やベビーマッサージ、手遊び、絵本を読んだり。お母さん同士、子どももみんな自由に。

申込不要。日時・会場は、広報裏表紙か文字放送で確認してください。

■お問合せ  
子育て支援センター(来島保育所)  
電話76・3284



役場から

保健福祉課 保健師  
川本夕紀子

今は、便利な時代で、ネットで調べれば解決できる子育ての悩みや疑問もたくさんあります。でも便利である反面、情報が多すぎたり、詳しい情報があったりして、逆に不安になることもあるんじゃないかなと思います。そんなとき、私たちが保健師にお電話をいただくことがあります。

でも、意外と昔ならお母さ



子育ての輪

つながり



AR  
動画



来島保健センターの二室。部屋の中からは、お母さんと子どもたちの楽しそうな声が聞こえてきます。部屋の前には、「子育て支援センター」の文字。毎週水曜日、朝10時から11時30分まで開設されている「ほっと.café」の会場です。  
今月は、ここで生まれているお母さん同士の「つながり」をきっかけに、町全体の子育てを考えます。

つながり1  
お母さん

子育て支援センター  
「ほっと.café」

「ほっと.café」は、「子育てをするお母さんたちに交流する場を」との思いで始まった場所です。平成24年に始まった当初は月1回の開催でしたが、お母さんたちの声で毎週の開催になりました。

飯南町に住んでいる人の中には、出身者、田舎の生活に慣れてという人、結婚を機に住み始めたという人もおられます。でも、なんとなく家の中で孤立したり、情報が少なかった

ともあるようです。来島保育所の保育士・小野充子さんは話します。「誰しも、初めての子育ては不安なものです。だから、子育ての第1歩のところで、同じお母さん同士のつながりって大切だと思います。もちろん保育士や保健師とのつながりもありますけど。この町で、子育てしながらやっていける、子育てをしたいと思う人が、1人でも2人でも増えればと思っています」

一方、祖父母に子育てを協力してもらえると、余裕が生まれるし、他のおうちの生活の知恵を教えてもらうこともできるかもしれません。特に、一人目の子ども、町外に通勤という場合には、情報が入りにくかったり、一人で悩みを抱えてしまったり、そもそも分からないことが分からなかったり。

「ほっと.café」が、困ったときの心のよりどころに、楽しく子育てができるための、その一助になれば」と小野さんは話されました。

もし、「参加する第一歩が踏み出せない」というときは、ぜひ電話してください。一緒に行きましょう！